

## 第 24 回 猪名川自然環境委員会 議事概要

1. 日時 平成 26 年 11 月 6 日（木） 現地指導 9:00～10:45 会議 11:10～12:15

2. 場所 現地指導：平成 24・25 年度工事実施箇所等（下表参照）  
会 議：猪名川河川事務所 2 階会議室

### 現地指導の行程

時間	場所	工事名等
9:00～9:05	JR 尼崎駅（集合・出発）	
9:20～9:45	利倉橋 （左岸 2.8k 付近）	・利倉河道掘削工事（平成 24 年度工事） ・猪名川河道掘削工事（平成 24 年度工事）
9:55～10:28	わいわいワンド付近 （左岸 7.3k 付近）	・北伊丹地区河道掘削他工事（平成 25 年度工事） ・三ヶ井井堰簡易魚道（H23.6 完成）
10:30～10:45	軍行橋上流左岸高水敷 （左岸 8.1k 付近）	・北伊丹レキ河原再生箇所（H22.3 完成）
11:00	猪名川河川事務所（到着）	

3. 出席者 委員：池淵委員、田中委員、服部委員、松井委員、村上委員  
森下委員（委員長）

猪名川河川事務所：大谷事務所長  
（管理課）黒川課長、横山係長  
（工務課）味田課長、菅野係長  
（公財）河川財団：今井、宝藤、井上  
（株）建設環境研究所：山崎、鈴木

4. 議 事 (1) 平成 24・25 年度の工事実施状況および環境調査結果について  
(2) 魚道およびヒメボタルのモニタリング調査について  
(3) 水質の現況と改善の取り組みについて

### 5. 結果

#### (1) 工事実施箇所のモニタリング調査

- モニタリング調査は、全ての工事箇所を対象とするのではなく、工事の目的に応じた重点箇所や適切な調査時期等を検討し、中期的なモニタリング計画を定めて実施する必要がある。
- 鳥類調査は、礫河原を繁殖地として利用するシギ・チドリ等を確実に確認できるよう、適切な時期に実施する必要がある。
- マダラクワガタが確認されているが、平地ではあまり生息していない昆虫であるため、再度確認が必要である。

## (2) 平成 25 年台風 18 号出水・平成 26 年台風 11 号出水による河道の変化

- 北伊丹地区レキ河原再生箇所は、今回の出水時における無次元掃流力を算定し、設計値との照合を行っておくことが望ましい。
- 河道断面や河床材料などから、流程に沿った土砂動態を把握し、今回の大規模な出水による変化を把握しておく必要がある。

## (3) ヒメボタルのモニタリング調査等

- 幼虫調査は、既往の調査方法ではなく、調査箇所も含め、他の調査方法を検討する必要がある。
- 幼虫・成虫・餌の分布と植生・昆虫・土壌・気象等の環境条件との関係を調査し、ヒメボタルが定着できる環境を明らかにする必要がある。また、調査にあたっては、桂川の大山崎地区等の調査事例を参考とすることが望ましい。
- ヒメボタル群生地は、治水上の樹林管理および外来種対策を踏まえた植生管理を検討する必要がある。
- 調査・検討の成果は、ヒメボタルの保全指針としてとりまとめ、具体的な対策を至急に進めなければならない。

## (4) 魚道のモニタリング調査等

- モニタリング調査は、アユの遡上時期と合わせて、魚道および堰全体を対象とした遡上調査を実施し、猪名川全体の遡上範囲や遡上数等を把握することが望ましい。
- 三ヶ井井堰は、左右岸の両端に落差の小さい滞筋がある。その箇所を対象として、堰前面のコンクリートブロックを利用したプールを設け、遡上経路を追加することが望ましい。

以 上